

平成28年度広島県特別支援学校教育研究会  
第3研究グループ  
ICTを活用した効果的な指導について

指導助言 チーフ サブチーフ	林 香 矢野 智之 福田 文治 西川 達也 伊藤 貴男 三坂 優 川野 弘宣 佐々木 良治 山田 康太 藤井 麻由 島口 実穂 藤原 かつる 沖野 大樹 益田 峻佑 酒井 敏郎	教育センター特別支援教育・教育相談部 広島県立西条特別支援学校 広島県立沼隈特別支援学校 広島県立尾道特別支援学校しまなみ分校 広島県立広島特別支援学校 広島県立広島西特別支援学校 広島県立廿日市特別支援学校 広島県立福山北特別支援学校 広島県立福山北特別支援学校 広島県立呉特別支援学校 広島県立広島北特別支援学校 広島県立沼隈特別支援学校 広島市立広島特別支援学校 広島市立広島特別支援学校	指導主事 教頭 部主事 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭
----------------------	--	--	---

### 研究の目的・仮説

**研究目的** 「主体的に学ぶ力」を育成するために、ICTの効果的な活用を研究する。

**研究仮説** 課題発見・解決学習においてICTを効果的に活用することで、学習意欲が高まり、主体的な学びに繋げることができるだろう。

**各班で仮説を立て実践**

### I 班 仮説 振り返りのツール

ICTを活用して振り返りを行うことで、主体的に課題を見つけ、解決する力を身に付けることができるだろう。

#### I 班の取組

活動・作品をICTを使用して撮影 → 動画・画像を使用した具体的な振り返り → 課題発見(意欲向上) 次はこうしよう!

### I 班 美術 I

**実態** 高等部第2学年病弱・準ずる教育課程  
・自分の力で作品を制作・完成させた経験が少ない。  
・表現したいことはあるが、経験不足から具体的な課題解決(表現)の方法が分からず消極的。

**ICTの活用** PC,ペンタブレット,描画ソフト,スクリーンショット機能で振り返り

### I 班 美術 I

**児童生徒の変容**

- ①自分の力で作品を完成させることができた。
- ②表現したい課題(質感,奥行き感など)に気づき,技法を自ら選択して表現できた。
- ③周囲から称賛の言葉をもらい自信がついた。

★振り返りを通して,自ら課題に気づき,表現技法を活用しながら,作品を制作することができた。

**主体的な学び**

○学習した技法を用いて,学校祭のポスターを作成した。

### I 班 まとめ

活動や作品を記録 → 動画・画像を見て振り返り(課題発見) → 次はこうしよう → 課題解決

ペンタブレット  
タブレット型端末(撮影機能)

タブレット型端末(再生機能)  
電子黒板  
Pic collageアプリ(2枚比較)

チェックシート

課題発見に向けての取り組み方や,解決の方法を身に付けることができた。

**Ⅱ班** **コミュニケーションのツール**

ICTを活用して児童生徒が意思を表現し合えば、思考力が深まるだろう

課題への気付き → **A** 大人への発信 → **B** 友だちへの発信 → **C** 友だちとの思考

**Ⅱ班** **B** 友だちに対しての発信 **自立活動**

**実態** 小学部第3学年 ダウン症

- 伝えたい気持ちは強い。
- 発音不明瞭。
- 友だちに伝わらないと諦めてしまう。

**ICTの活用**

タブレット型端末 (Drop Talk) 発信を手助け

**Ⅱ班** **B** 友だちに対しての発信 **自立活動**

**児童生徒の変容**

- ①必要な物を教師や友だちに、伝えることができた。
- ②相手に応じて、発信方法を選択して伝えることができた。
- ③自分の意思が伝わる喜びを感じていた。

★何度も試行して必要なカードを探そうとするなどの思考する力が深まった。

**主体的な学び**

○自立活動の時間以外にも、必要に応じてタブレット型端末を活用するようになった。

**Ⅱ班** **まとめ**

**A** 大人への発信  
**B** 友だちへの発信  
**C** 友だちとの思考

ICT  
情報発信  
情報の視覚化  
情報の変換等

コミュニケーションの成立  
(意志の共有化)

思考力が深まった

**研究の成果**

I班 授業の振り返り → ICT → 学習意欲 → 主体的な学び

II班 コミュニケーション → ICT → 学習意欲 → 主体的な学び

**研究のまとめ**

課題 → ICTの活用 → 学習意欲 → 主体的な学び

- ①分かったできたことを感じる事ができた。 **有能感**
- ②自発的に行動していることを感じる事ができた。 **自己決定感**
- ③相手と思いを共有する事ができた。(相手に受け入れられる) **他者受容感**

**今後に向けて (ICTの将来性と課題)**

- 児童生徒により質の高い反応が得られる機器やアプリ、発達段階に応じた活用方法の精選。
- 児童生徒の新たな「主体的な学び」を導くICTの活用。